

海に出ると全て自分の時間、 全て自己責任なのです。



サンコーリサイクル 株式会社
(尾張南支部)
代表取締役
金田 英和 さん

今回は海が趣味と言うサンコーリサイクル株式会社代表取締役金田英和氏にお話を伺うということで、梅雨の晴れ間お時間をいただきました。

—ワア、もうすっかり夏色ですね。

金田 そうですか？仕事柄、外で動くことが好きで、仕事でもプライベートでもアウトドア派なんですよ。実は今、自分では結構色白の季節だと思ってたんですよ(笑)。

—色白ですか？次はベストシーズンにお会いしたいですね(笑)。海がご趣味と伺いましたがシーズンはいつ頃になるんですか？

金田 シーズンは3月から11月頃ですね。

憧れは海人(うみんちゅう)

—海と言うとヨットとかクルーザーとかサーフィンとかいろいろありますが…。

金田 クルーザーです。今は2台目で「海人」というクルーザーで海と戯れてますよ。

—クルーザーと言うと、釣りとかもなさるんですか？

金田 もちろん釣りもしますよ、出かけた日には家族が釣果を期待

して待っています。

—釣果はやはりご自分で調理なさるんですか？

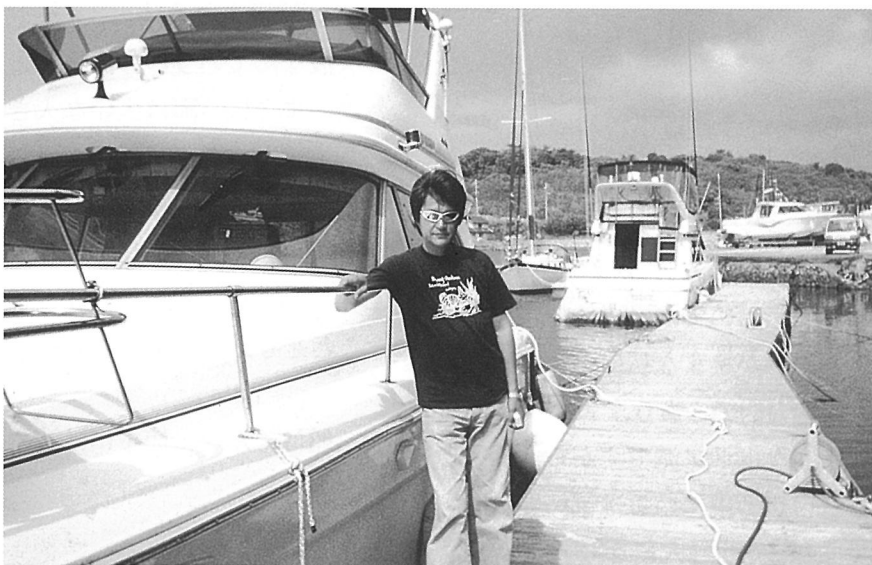
金田 もちろんです。釣りたての魚はおいしいですからね。釣った魚を自分でさばくのはまさに釣りの醍醐味です。

—想像するだけでワクワクします。おいしい魚を囲んでの夕食は楽しそうですね。ところで、クルーザーの出会いはいつ頃だったんですか？

金田 出会いですか？これが非常に衝撃的なんです(笑)。以前からとてもお世話になってた9歳年上のある社長がいて、その人に連れられて海に遊びに行っていたんですよ。そのうちのある日、社長から電話があって…。

—電話があって？

金田 これから船を見に行くけど一緒にどうだと電話がありました。その時は仕事で都合がつかず、お断りしたんですが、その後また電話があり「船、買ってきたぞ」





と…。

—え？船を買ってきたって、誰の船を買ってきたんですか？

金田 私の船ですよ（笑）。それで「これは免許を取りに行かなくちゃ」と。

—え？免許のないうちに船が届いたんですか？

金田 だから、急いで免許を取りに行きました。でも、こういうきっかけがなければ、私の今のこの充実した海人生はなかったかもしれませんね。

—それは衝撃的ですね。そのスタートから、もうキャリアはどれくらいなんですか？

金田 キャリアは5年になります。でも、凝り性だから普通にキャリア5年という方よりも、かなり多くの回数海に出てると思います。—やはり海にそれだけの魅力があ

ったということですよ、海の魅力ってなんですか？

金田 それはいろいろありますが、ルールがないって言うのが最高の魅力ですね。もちろん、いろいろな決まりはありますが、例えば車を運転する時とは違って、スケールが大きいんです。海に出ると、それが例えば1人だった場合、どんなに大きな声を出しても誰も応えてくれません。自分ひとりなんです。

知らない外国へいったのと同じです

—1人というのは不安じゃないですか？

金田 もちろん不安です。でも、すべてにおいて自己責任と言う部分が、わがままな私にとっては非常に魅力的でもあります。それに、元々アウトドア派ですから、海と言う自然の中にいるは気持ちいいですね。特に1人になりたい時は

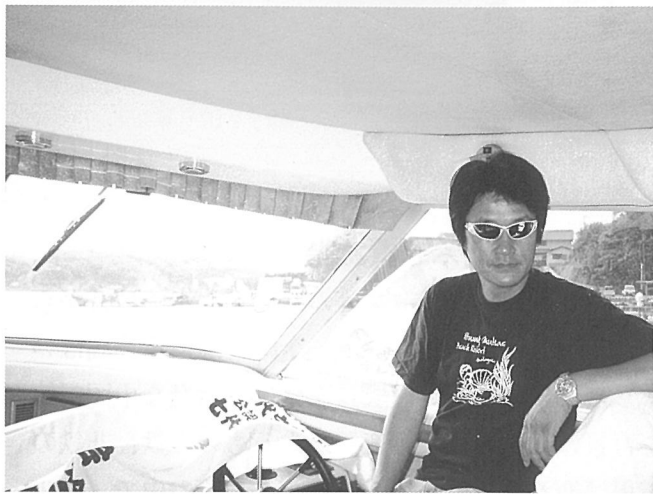
ベストです。それに、普段は陸から海を見てるじゃないですか、その反対に海の上から陸地を見るといのは、また普段とは違った感覚になり、新しいアイデアが浮かんだりするものです。とにかく海に出ると日常から離れられる、全く日常とは違った自分に出会えるんです。それに、気持ちだけではなく、クルーザーの上では日常使わないような筋肉も使うんですよ（笑）。つまり、身も心も脱日常という感覚ですね。

—海から陸を見る…。なかなか日常ではできない体験ですよ。だからこそ、いろいろな感覚に刺激があって、おもしろいアイデアなんかも浮かぶのかもしれないね。でも海はいつもおだやかと言うわけにはいきませんよね。やはり危険な場面もあったりするんですか？

金田 そうですね、出かける時はお天気もよく穏やかな海だったのが、昼から急に天気が変わるなんてことは結構あります。3メートルの大波なんていうのも体験しましたよ。まさに「海は広いな大きいな」ですよ。人では勝てない強さを感じます。

—3メートル…。そんな時は、どんなことを考えてるんですか？

金田 船はそんなに簡単には沈まない（笑）と。



—プラス思考なんですね (笑)。

金田 クルーザーはよく海を走るマンションと呼ばれます。寝室やキッチンはもちろん、シャワーもテレビ、ビデオもありますから、そんなに簡単に沈むわけではないと信じてます。それに、自然が好きと言う以上は、その中での危機管理能力は養っているつもりです。

無人島でバーベキュー いろんな発見もあって 家族も大喜び

—海に行く時は、いつもお仲間でご家族もご一緒なんですか？

金田 もちろん家族と一緒にのときもあるんですが、妻と息子は船酔いをするもんだから、あまり行きたがりません (笑)。娘は大丈夫なんですけどね。でも、夏は家族で船を出して、無人島で海水浴をしたりしますね。結構近場でもきれいなところはあるんですよ。無人島に上陸してバーベキュー、楽しいですよ。

—無人島ですか？何だか贅沢な海水浴ですね。娘さんはお友達も一緒に来るといふ事で、自慢のお父様でしょうね。

金田 どうでしょう。でもみ

んなが喜んでくれるから、見てる私も嬉しくなりますね。

—海のほかにもアウトドアのご趣味はどんなことをなさるんですか？

金田 冬のシーズンはスキーに行ったり、ゴルフを月に1.2回行っています。まあ、ゴルフは仕事関係という事が多いんですがね。息子が小さな頃には、庭にテントを張って飯盒炊きで泊りました。やはり経験に勝るものはありませんからね、どんな状況でも対応できるように様々な体験をさせたい

とっていました。

—いろんな体験をした息子さんが、今後はきっといいパートナーになってくれるんでしょうね。

金田 うちの父もアウトドア派で、今も毎週ゴルフをしています。きっと血筋なんでしょうね (笑)。

ご家族やお仲間とアウトドアで楽しみながら、会社では経営手腕を発揮し、協会では支部長と言う大役もこなしていられる金田氏は、まさに海の男といった印象で、とても爽やかにインタビューに応じてくださいました。これからまさにベストシーズンを迎えるクルーザーで今年も楽しい時間を満喫なさることでしょう。これまで培った経験を生かして、さらなる海ライフ、アウトドアライフをお楽しみいただきたいと思います。そして、また私たちにも楽しいお話を聞かせてくださることを楽しみにしています。

